

平和共存、反独占
民主主義、学生運
動統一のために！

特
第二春闈

独核

10
21

米帝國主義、仏帝國主義の激化に反動的に対応したるラジヨジョーのナショナリズムの結びつき、新に移民散の係の社会主義勢力の優位の後退しつつある社会主義勢力の抵抗を試みようとする。

インドの世界第六番目の
は、パキスタン・イスラエ
ジプト・インド・ロシアの移
に刺激を与えている。かか
な現実を口実に、日本帝国
核武装の急速な準備を遂
る。田中首相の「一定限
保有は違反ではない」との
原子力潜水艦の建造、原
所、再処理工場の建設の
のこすを端的に示してい

木・福田が閣外
田中内閣は極め
程度まで落人つ
ていないし政策
欧米の資本主
くとも政策の手
相異は、日本に
て、勤労人民の
来ている。政府
たものの、他の

本格的な悪
日、彼らは、動
ものには徹底し

張一
主一
第二春
独占の恐懼

り、これがさらに深刻になると、中小企業やその他いくつかの不況業界への影響が大きくなり、場合によっては雇用面で新卒者の就業にも問題が出てくる。

彼らは、さる七月の参院選において、独占資本の公然たるバックアップをけて闘つたにもかかわらず、インフレと（この時には、恐慌につき）ては必ずしも決定的な事象にはならなかつた）田中内閣の露骨な反動政治に対する、勤労人民の集中的批判によつて大敗を喫した。この結果、二

を
も深刻な恐慌
界の資本主義諸國を黒
社会を深刻に揺り動か
る運を、して、「未知の
制度理事長」に世界経
ないことが起きると考
る」(ノー・前西独経
に続いて、ついに世界帝國主義の頭目、P
ソンが大統領の座を追われたことによつて
主義諸國の政權交代劇は、一つの頂点に達
がある。
そして、次の政權交代劇は、もはやフリ
ジューの政治代理人の間での交代で終るとは
確信をもつて言えないのである。平和と愛
主義と社会主義をめざす勢力の前進に
有利な局面が新たに開けており、激しい闘
の時代に至つてゐる。

したハイ・テンポの成長
 資本家とその御用学者達
 本主義のメカニズムが、
 腐へきインフレとリセ
 たらしている。戦後経済
 日、西独、伊ですら、
 収支の極度の悪化を直接
 機に直面しており、日本
 減少させつつ、かつ国内
 いる。唯一強い通貨マ
 銀行四つが倒産し、金
 王代木の成長の一足

日本経済と政府・自民党
 「景気停滞は、鉄・薬生薬、在庫、出
 の手元流動性などには、つきりと現われ
 張＝
 主＝
 独
 占

二十年來の月並みたる「英倫のエネルギ」を示して、資本主義諸國を中心とする勤勞人民の年間に英、仏、西独の政共産黨を中心とする左リシヨによるテロの増加となつてゐる。ポルトガ政權の崩壊（たじふ

り、これがさらに深刻になると、中小企他いくつかの不況業界への影響が大きく合によると雇用面で新卒者の就職にも問くる恐れもある。」（内田経企庁長官発政府・自民党は今回の不況が深刻なものとを認め、恐慌とは認めていないが）、労働大衆の犠牲によつて乗り切ることをした。

彼らは、さる七月の参院選において、の公然たるバック・アップを受けて闘つかわらず、インフレーション（この時には、恐ては必ずしも決定的な争点にはならな

田中内閣の露骨な反動政治に對する、勤

民主主義學生同盟中央委員會書記局

第二春闘に連帯し、総需要抑制・政治反動と対決し、田中内閣を打倒しよう

学費値上げの阻止を

國・公・私学の授業
 料値上げ断乎阻止
 今日のインフレーション、高物
 価の急速な進行で公共料金を値上
 げは、労働者階級はしめとした反
 反口諸階層に苛酷な生活破壊と
 而て生活を強制している。かかる
 中で、私学資本は私学の財政「危
 機」を呼び、私学学費値上げを強
 行せんとしている。政府もまた、
 公立と私立との学費格差の「是
 正」で公共料金の差別的につけ上
 げの傾向を口実に、国立大学の学
 費値上げを行なうことを検閲して
 いる。
 私学はこの四年間連続して全
 国で百校を越す学費値上げを強行
 している。今年は、すでに同志社
 大学が値上げを発表しており、今
 日のインフレーション下では昨年
 以上の値上げが充分に予想され
 る。
 これらの動きを基本的に規定し
 ているのは、一貫した政府・独占
 の低文教科書政策と私学資本の營
 利主義である。すなわち、勤労人
 民への「受益者」負担主義の適用
 ―徹底した大衆取奪である。
 私学危機の本質は、60年代から
 の科学技術革命の中で、資本と生
 産能力の要求する学生の高学費
 が、私学資本によつては目的を達
 しえないところにある。すなわち
 資本の論理が、教育諸条件の急速
 な悪化と慢性的学費値上げをもた
 らし、学生を勉学の場から遠い
 てることによって、大学としての
 本質的機能の崩壊を導きつつある
 といつてよい。
 かかる現状の下で、政府・独占
 は「私学助成法」を国会に提出し
 た。その基本的内容は、①私学
 総経費の半額国庫負担 ②助成対
 象条件の強化と私学振興財団を通
 じた「配分」 ③地方移転と地方
 の新増設の優遇と奨励 ④育英

示している。また、翌即雅も、
類負担の目標すら、引き締めるの大
蔵省によつて、大きな切り縮められ
てゐた。だから、この本質は、
わずかの金を利用し、徹底した財
政誘導による私学の反動的再編の
強化を意味しており、私学の矛盾
の解決にはなりません。私学間の格
差の拡大は一層の危機の増大をも
たらすものである。これに対決す
るためわれわれは、文教予算の大
規模の拡充と民主的配分の具体案
をもつて闘ひねばならぬ。

九月
中旬
國際連帶行動

ファシス・クーデター後、一年を経たずしては、野蠻な弾圧・拷問・テロルの支配下におかれている。一切の民主的・自由が抑圧され、大学は軍隊に支配され、ドーソン路をはじめとする強制収容所に投獄されている政治犯は、軍部の手先による拷問・凌辱、その他残虐な暴行を受けている。

クワ世界平和勢力大会での特別アピールに呼応した諸國人民の連帯闘争は、全世界で大きくくりひろげられている。パリでのヨーロッパ連帯会議・モントリオールでのパ連帯会議・チリ軍事政権犯罪調査國際委員會の諸活動等；その輪はいつ、つと大きく広がっている。

軍事評議会は強烈的過失を問閣を延長し、賞金を凍結し、生活必需品の価格統制を廃止した。生活費は十倍にも急騰し、人民連合の下では三二%にまで減つた。失業率は十三%以上になつてゐる。

この九月には、世界労働はじめ総評を含む大多數の労働組合の呼びかけの下に「チリ連帯世界労働組合会議」の開幕が決定されてゐる。

わが国においても、日本チリ連帯委員会的主催のもとに9月11日、

軍事諸將の巨賈化政策によつて、国有化された企業は国内独占ブルジョアジーなど元の所有者の手にもどつたのである。

国有化された外国資産は、アメリカの所有者の手に返還されている。

しかし、フランクフルトに対するデモの連帯集会にむけた闘いが展開されている。日本における闘争は、日本独占がチリ銅資源に目をつけ「日本鉱業」をはじめとする日本資本のチリ進出が行なわれている。現在、きわめて重要な意義をもつてゐる。

リ人民の不屈の闘いは、力強く前進している。人民連合は、メーデーに時を合わせて、反ファシズム統一戦線の結成を呼びかけている。暴虐の魔にも屈せず、人權の回復、民主的權利の再確立・生活水準の維持・雇用の保障、民族獨立の擁護を要求するこの統一戦線結成がピールに込め、共産党に指導されCUTに結果する二四〇万労働者を先頭とする農民、知識人、文化人、科学者……あらゆる人々が斷固として闘いを組織している。

余ての政治因に自由を、ノルウェーを解放せよ、彈圧と虐殺を停止中止せよ、日本政府は、一切の援助を止めよ、國交を斷絶せよ、資本進出を中止せよ——このフーロガンの下に、最も広範な國際主義的任務である。

民學同志は、チリ人民との眞の連帯を確立するために、全力をあげた。チリ人民は必ず勝利する、チリ人民と日本人民の革命的連帯だつた。

チリ人民は必ず勝利する、チリ人民と日本人民の革命的連帯だつた。

全ての政治因に自由を、ノルマンを解放せよ、彈圧と虐殺を序々に中止せよ、日本政府は一切の援助を止めよ、国交を断絶せよ、資本進出を中止せよ——このフー・ガンの下に、最も広範な團體を組織することこそ、われわれの國際主義的任務である。

民學同志は、チリ人民との眞の連帯を確立するために、全力をあげるであらう。

チリ人民は必ず勝利する、
 チリ人民と日本人の革命的連帯萬才、



チリ人民連帯！

を強化し大衆闘争を
全国的な学友諸君、
今春、東京部において理科大
生先頭に自治会連絡会議（連）が
先頭に自治会連絡会議（連）が
大阪にて阪大生自
治会に自治会連絡会議準備会結成
闘いが進められている。学費値
上げ阻止、政府の私学、助成法
制定策動熱心、新大憲法国会上程
阻止を、自治会運動の中心的課題
として、各学園の徹底した、ク
ラス・学科・サークルでの粘り強
い闘いを基礎に、大衆的自治会運
動の構築と、それを背景とした自
治会間の共同闘争を実現すること
が重要となっている。
今秋期、反インフレ、生活防衛
闘争をストライキをもって闘い抜
かんとする労働者階級と大衆組
闘者を堅く連携し、政府・独占の
攻撃を粉砕しよう。

陝山九月公判—
て決起しよう

事件発生以來十二年間、幾多の困難な闘ひを経て、狭山差別糾弾闘争は、九月連続的な大勝をもち、高裁段階での結審がつけられようとしてゐる。

力総

の人民の統一した意志とすべく全国大行進を成功させており、新日万名署名活動の前進とともに、9月公判闘争勝利へつぎ進んでいる。十二・二十七公判闘争に組織参加をかちとつた総評は、九月十日労組総結集で狭山集会を成功させたとして、学生の戦力を狭山学生連を中心により広汎に統一され強化され、学生解放前進運動に輝しい成果を勝ちとつてゐる。全国の学友諸君、長く苦しい

七十二年十一月井波裁判長打倒の成果を土台に開始された再開公判において、「六つの鑑定書」をう。

となつていますが大阪市立大学の誤りです。

文中、「切抜け：現害と算：」となつてゐるのは「切開け：現害と盾克服：」の誤りです。

出とこ
地反動
うにな
しい反
進出に
ッシヨ
チヨソ
に寒微

い。運動におけるこの限界を理解した上で、われわれは、第二春闘の勝利のために全力を尽さなければならぬ。

学生運動と労働運動

今月の学生運動は、何がしかの大きな勝利を得るためには、労働運動と固く連帯しなければならぬ。学生運動は、要求と活動形態において、形式的には労働運動と異なつてはいるが、その内容において労働運動のそれとかけはなれるが、その内容を保証されない。大衆取奪と反動の攻撃は、学生の

め、あるいは禁止している学内反動措置を粉砕する闘いは、労働者階級の密に奮闘と深く結合した、最重要の課題の一つである。六十八年から七十年の全国学園闘争の嵐の後で、「大学法」のもとで五年間苦しめられたい学生運動は、労働「大学法」期限切れと、自民党政府の孤立、労働

阻止せし中
四十八回
「不況
るが、企
中心に、
働者がけ
上旬にか
けられな
進するた
糾として
社会民主
な一里塚
されえな
ばならない。

國運動の高揚を實現せすにはおかないだろう。また學生再運動は、政治闘争の分野でも、敗戦のイニシアチブが後退している今日、かつて第一期全學連が单独議和に反対して闘い、また第二期全學連が、砂川闘争から安保闘争を隔つたあの伝統と名譽にふさわしい闘いをくり広げ、勤勞人民の闘争の重要な一翼を立派に担うであらう。原水禁世界大会の成果の上に、「核拡散防止条約の即時批准」「全面核停条約締結」「被爆者援護法即時制定」の平和の要求と、チリ・「韓国」などファッシュ政権倒壊、日帝のファッシュ政権でこれによる帝國主義的進出反対のスローガンをかけ、十・三一國際反戦統一行動を大成功させなければならぬ。

総需要抑制、政治反動と対決し、第二春闘勝利、田中内閣を打倒しよう！

文教・住宅・福祉予算拡大！ 四次防即時中止！

刑法改惡——法制審答申粉碎！
小選拳區制導入粉碎！

政府独占の低文教予算政策 大衆収奪強化を許さず、学生生活擁護闘争を推進しよう！

- ☆ 国公私立一斉学費値上げ阻止—学費完全凍結、
- ☆ 学費スライド制導入反対、
- ☆ 学生平均支出と同額の奨学金、必要者への完全貸与を實現しよう、
- ☆ 新寮建設、教育厚生施設の拡充、
- ☆ 学生、教育労働者への政治反動を許さず、

中教審答申の全面具体化と対決しよう

- ☆大学運営臨時措置法即時廃棄、大審法制定国会上程
- 止！
- ☆目的別格差付け——統制強化の私学「助成」法制定策動極
- 碎、私学振興財団法即時廃棄！
- ☆私学人件費全額国库負担即時実現！
- ☆学内寡頭支配打倒、教育研究内容の民主的改革を勝ちと

☆新構想モデル大学―教員養成大学、技術科学大学院、放送大学設置反対！
☆統合・移転を通じた私学の反動的再編粉碎！
部落解放同盟と連帯し、高裁段階での完全勝利、九月公判闘争へ総結集しよう

☆狭山差別裁判反対ノ無実の石川青年即時釈放ノ
☆石川青年は無実だノ完全無罪判決を行なえノ
☆松原パークレーンでっち上げ差別裁判反対ノ
☆日共（代々木派）の差別的キャンペーン粉碎ノ

□原水禁世界大会の成果を引き継ぎ、核防
准、日本独自核武装阻止、全面軍縮を勝ち
とろう

☆仏、印、中などの核実験糾弾、
☆核防条約即時批准、原発再処理工場設置阻止、
☆被爆者援護法即時制定、
☆世界軍縮会議開催断固支持、ソ米地下核実験制限協定
持、
□四次防全面中止、日米安保条約破棄、ア
ア集団安保へ前進しよう、

☆OTI・核レーダー基地即時撤去！
☆核模擬爆彈投下訓練即時中止！
☆日ソエネルギー協力推進、国境現状承認に基づく日ソ
和条約即時締結！
☆米帝のインドシナ両和平協定破壊策動糾弾！
☆インド洋平和地帯確立、核基地設置阻止！
□コルバランをはじめとしたチリ人民への
アツシヨ的弾圧を許すな！

□ 朴のフアツシヨ的な学生、民主主義者へ
弾圧を許すな！

□政府は朴への政治的経済的援助を即時中
 せよ！ 「日韓」条約即時廃棄！
 □世評アピールに応え、核防批准、日本独
 核武装阻止へ、10・21国際反戦デーを闘
 抜こう！